

令和7年 11月13日(木)～11月22日(土)
冬の交通安全市民総ぐるみ運動

～めざせ安心で安全な旭川～

凍結路面でのスリップ事故防止等を図るための活動等を推進する。



旭川市シンボル
キャラクター
あさっぴー

北海道の雪道の特徴

A cartoon illustration of a person wearing a blue winter coat and hat, using a black snowbrush to clear snow from the windshield of a green car. The car is covered in a thick layer of white snow.

「アイスバーン」はまるでスケートリンクのようでブレーキが利きづらくなります。

そして雪が降った後は除雪された雪が路肩へ寄せられるため、道路幅が狭くなります。普段2車線ある道路が1車線になってしまうことや、寄せられた雪が山のように高く積み上げられ、視界が悪くなってしまうのも特徴です。

また吹雪や大風により舞い上がった雪で、前が全く見えなくなってしまう、「ホワイトアウト」も大変危険です。



冬道の運転は渋滞しやすく、移動には夏の倍の時間がかかると考え、時間に余裕を持って行動しましょう。

【発 行】旭川市、旭川市交通安全運動推進委員会、旭川市市民委員会連絡協議会交通部会

旭川市防災安全部交通防犯課 電話25-6215

【回覧】 町内会（班）で回覧願います。

[illegible]



冬道運転の注意点

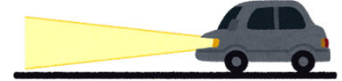


雪や氷などによって滑りやすくなるため、ブレーキをかけてから停車するまでの距離が長くなります。

走行する場合はスピードダウンと、夏期の2倍以上の車間距離を確保しましょう。

また、凍結した路面などでの追い越しは非常に危険です。

- ①カーブ カーブ内での急激な加速や減速は、走行が不安定になることがあります。カーブに入る前に安全速度までしっかり減速し、一定の速度で曲がるようにしましょう。
- ②橋の上 強い風が吹くことで、黒く濡れたアスファルトのような凍結路面「ブラックアイスバーン」が出来やすく、見分けることが非常に困難です。
- ③交差点 タイヤなどで磨かれ、路面がツルツルになっている場合があります。冬は歩行者の歩くスピードが遅くなることや、もらい事故が発生することを考えて特に慎重に運転しましょう。交差点は追突事故が発生しやすいポイントでもあります。
- ④坂 道 十分な車間距離を保ちましょう。下りでは早めに減速することを忘れずに。
- ⑤トンネル トンネル内部は湿度が高く、出入り口付近は冷たい風が吹き抜けるため、全体的に路面が凍結していることがあります。
- ⑥わだち ハンドルがとられて車が横向きになったりスピンして反対車線に飛び出してしまうことがあるため、なるべくわだちのながれに逆らわず十分にスピードを落として走行しましょう。



万が一立ち往生してしまったら…



車をできるだけ道路の左端に沿って駐車し、ハザードランプの点灯・停止表示機材の設置をすることで後続車に合図します。

雪が降っているときは車内に排気ガスが入り込むのを防ぐために、定期的にマフラー付近を除雪しましょう。また窓を少し開けて車内の換気をしましょう。



※除雪ができない場合はエンジンを切ってください。

バッテリーが上がってしまうトラブルも多いのでロードサービスに加入することもおすすめします。

冬はスリップによる事故が増えるので自動車保険の内容や連絡先も改めて確認しておきましょう。

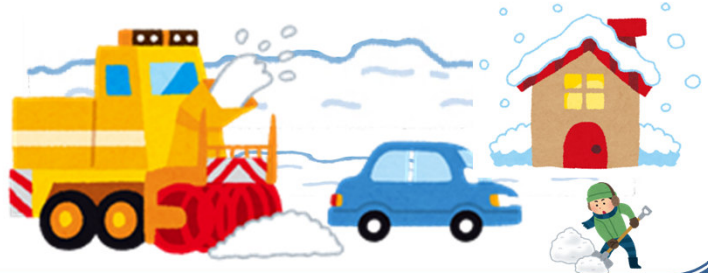




御協力をお願いします！

「道路への雪出し」と「路上駐車」は やめましょう！

「道路への雪出し」や「路上駐車」は、道路の除排雪作業や救急車等の緊急車両の通行の妨げになりますので、皆様の御理解と御協力をお願いします。



高齢ドライバーの皆さん！安全運転のポイント！ 自分の運転！ここが危ない！

加齢に伴い、上下左右の見える範囲が狭くなり、車や歩行者・自転車を見落とすおそれがあります。夕暮れ・夜間・雨の日・吹雪など視界の悪いときは、意識して運転を控えましょう。

また、アクセルとブレーキの踏み間違いによる暴走事故を防ぐために、パニックになる、慌てる状況に身を置かないように心掛けてください。

運転はゆっくり、慌てることなく余裕を持つことが大切です。

運転に不安を感じたら・・・

安全運転相談ダイヤル「#8080」へ

受付 月曜日～金曜日の8：45～16：30

（祝日、年末年始を除く）

高齢や病気等で運転を続けることに不安を感じている高齢ドライバーやご家族の方は、ぜひご利用ください。



タイヤの脱落事故防止！

走行中のタイヤの脱落は重大事故に直結！！

タイヤの脱落事故は、特に冬タイヤの交換後に発生しやすいです。

- ・ナットに緩みがないか
- ・タイヤに異常は無いかなど
- ・確実な点検・整備を！

定期的にホイール・ボルト・ナットにさびや異物が付着していないか確認しましょう。

また、ゴミや泥を取り除き清掃もしましょう。

●増し締め

タイヤ交換後、50～100kmほど走るとホイールナット・ボルトが緩みやすくなります。

タイヤ交換をご自身で実施した場合でも、お店で実施した場合でも増し締めをしましょう。

●異音発生時の運転中止

運転中にタイヤ周辺から異音がする場合は、運転を継続することなく、安全な場所で停止し、ナットの緩みがないか確認し、原因がわからない場合は、ディーラー等に連絡しましょう。



交通安全アルバム

市内各地域での交通安全の取り組みの一部を御紹介します。



『反射材直接貼り付け活動』
旭星地区敬老祝賀会 (9/13)



『反射材直接貼り付け活動』
末広東地区敬老の集い(9/15)



永山地区『黄色い旗の波』街頭啓発活動(9/19)



東旭川地区秋の交通安全街頭啓発活動(9/21)



神楽地区交通安全協会「秋の交通安全旗波運動」(9/21)



みんなで根絶！飲酒運転！

11月末から年末年始は会社の飲み会やお酒を飲む機会が増えてきます。

アルコールは、お酒が強い人、弱い人に問わず、少量でも脳の働きを麻痺させる作用があり、安全運転に必要な「認知・判断・操作」に大きな影響を及ぼします。

「少しくらいなら大丈夫・・・」その身勝手な思い込みが取り返しのつかない事態を招くかもしれません。

**飲酒運転はしない、させない、許さない、
そして、見逃さないようにしましょう。**

